



湾岸・アラビア半島地域ニュース

オマーン：自動車工場設立計画

(2月6日付オブザーバー紙)

1. 2月5日、オマーン初の自動車工場設立に関わる合弁同意書署名がオマーン、カタル、クウェイト及びマレーシアの投資家及び投資グループ等によって行われた。
2. 同事業は北部ブレイミ工業団地内の 500,000 m²の用地に計画され、投資総額は1億5000万ドル以上と推測される。本事業の計画管理及び経営に当たる合弁会社「アル・オマニーヤ・アル・カタリーヤ (AOAQ)」設立に関する MoU 署名も行われた。
3. 本事業は、オマーンのアブ・ラザン・モダンプロジェクト及びハラ・インベスティメントによる投資が最も大きく、続いてハマッド・アル・タニ殿下(カタル)及びウエスト・スター・インベスティメント(クウェイト)であるが、エヴァコープ(マレーシア)は、戦略パートナーの形で参加している。
4. AOAQ のオマーン人 CEO は、「事業設立の目的は、急速に多様化するオマーン経済に新しい分野の事業を導入することにある。事業解説当初は、ロックダウン方式の組立を中心に行い、続く第2フェーズでは、湾岸市場を対象とした独自のブランド自動車を製造すべく事業拡張が計画されている。事業計画発表までに関係者は2年間市場調査を実施した。湾岸地域は世界最大の自動車市場となる。オマーンは地理的優位性を活かし、湾岸以外にも中東及びアフリカ市場への進出を狙っている。特にブレイミはサウジ、ドバイ、ソハールへの製品輸送に便利な立地にある」と述べた。
5. 工場では複数の車種を製造する見込みであり、日本やマレーシアなど海外からの技術導入を図る予定である。工場建設は2009年初旬開始の予定であり、製造開始は2011年を予定している。工場設立で500~800人の雇用創出が見込まれ、第2フェーズ開始後には更に多くの雇用が追加創出される見込みである。従業員は、中国及びマレーシアでの研修が計画されている。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799